



企画展「みほとけのキセキⅡ～遠州・三河のしられざる祈り～」 開催について

1 開催内容

令和3年3月から4月にかけて、企画展「みほとけのキセキー遠州・三河の寺宝展ー」（以下「みほとけ展」）を開催した。みほとけ展は、浜名湖を中心とした遠州・三河地方に点在する寺院に残る平安・鎌倉・南北朝時代制作の仏像を一堂に展示したものである。国指定重要文化財の10軀や寺外初公開の7軀を含む地域を代表する諸仏を展示したこと、遠州・三河という現在の行政区分の垣根を超えた二地域に着目した初の仏像展であったことから、28日間で約23,000人を動員した。今回の企画展「みほとけのキセキⅡー遠州・三河のしられざる祈りー」は、みほとけ展の続編に位置付け、秘仏をはじめとした通常非公開の仏像、近年の調査でその価値が見出された仏像を紹介する他、みほとけ展では紹介できなかった地域、時代の仏像も取り上げる。遠州・三河の「しられざる仏像」の存在を再確認しながら、改めて遠州・三河に根付いた仏教文化の価値や魅力に迫ります。

2 開会式 令和5年10月13日（金）午後2時から内覧会終了の午後4時まで

※一般公開は10月14日（土）～

浜松市美術館（浜松市中区松城町100-1）

○式次第 1. 主催者挨拶 2. 来賓・主催者紹介 3. テープカット
（開会式終了後、内覧会）

○出席者 山名 裕 （浜松市副市長）
松永 昌和 （セキスイハイム東海 営業企画部長）
伊藤 徳直 （静岡銀行専務執行役員 西部カンパニー長）
戸田 誠 （浜松市議会議長）
大場 司 （中日新聞社取締役 東海本社代表）
横山 英訓 （テレビ静岡取締役 事業担当）
飯室 仁志 （浜松市美術館 館長）

3 開催期間 10月14日（土）～12月3日（日）まで開催

○開館時間 午前9時30分～午後5時（最終入館 午後4時30分）

○休館日 月曜日

○観覧料 一般1,400円、高・大・専門学校生1,000円、70歳以上700円、
小・中学生以下無料

※中・高・大・専門学校生、70歳以上の方は身分証を提示

※未就学児、障害者手帳・精神保健福祉手帳・療育手帳所持者及び
介護者1名は無料

※「どうする家康 浜松大河ドラマ館」の半券提示で当日料金から2割引

※各種割引は併用できないものとする

※団体割引あり（20名以上は当日料金の2割引）

4 主催 浜松市、中日新聞社東海本社、テレビ静岡

5 協賛 セキスイハイム東海、静岡銀行

